

## 4～5歳児のキノコ観察のススメ

金川 泰三

### 本原稿の目的：

幼児にとってキノコ観察は成長にとってよい題材であることを周知し、幼児向けのキノコ観察イベントが増え、幼児の親御さんたちがキノコ観察をするきっかけになればと思います、本原稿を投稿します。

### 本原稿を記載する背景：

私自身は大学で理学部物理学科在籍だったため理系ではありますが、生物は中学生どまり。つまり、キノコについては全くの素人でした。息子が生まれ、なぜかその息子が4歳からキノコ大好きになりました。親としては「ホンモノのキノコを見せたいものの、どこに行ってもいいのやら？」「どうやったら安全に観察できるのだろう？」右も左もわかりません。

ですが、今では毎週どこかしらにはキノコ観察に出かけています。そして息子がキノコ観察を通じて、たくさんの刺激を受けていることに気づきました。ある人からは「その体験こそ、センス・オブ・ワンダーですよ」と教えていただきました。私自身は、センス・オブ・ワンダーなんて言葉も知りませんでした。ただキノコ観察を通じ息子が刺激を受けている様子を見て、4～5歳の成長にぴったりだと気が付きました。これほどまでに自然が、キノコが育んでくれるなんて、と驚いています。

こんなぴったりなら、もっと幼児のキノコ

観察が広がればいいのと思い、本原稿を投稿することにしました。

### 本原稿の内容：

- ①息子を通じてわかった、キノコ観察が幼児の成長にぴったりの点
- ②キノコ素人の親が幼児を連れて行くときの心配事と、その解決方法
- ③なぜ幼児のキノコ観察を広めたいか？
- ④幼児のキノコ観察を広げるための今時点の私のアイデア

①～④を通じて、幼児とキノコという、新しい出会いが増えることを心より祈っております。

### 【内容①】息子を通じてわかった、キノコ観察が幼児の成長にぴったりの点：

私が息子を通じて、幼児の成長にぴったりだと感じた点を以下に記載します。

#### ◆体力面／

・体力がつく（一度キノコ観察に行くと、8000歩以上歩きます。初めのうちは、息子は途中で疲れて帰ると言っていました。が段々慣れ、今では一日2か所いく事も可能に。たくさん歩きますので、体力・特に持久力を養えたと思います）

#### ◆学習面／

・記憶力がつく（まさに、4、5歳はいろ

いろいろなことを覚える時期です。キノコ図鑑を見て、キノコの種類を覚えていきました。気づいたら、私よりもたくさんの種類を覚えていました。)

・キノコの図鑑でカタカナを覚える(4、5歳で文字を覚えます。息子はキノコ図鑑でカタカナを覚えました。お察しの通り、息子は「タ」と「ケ」から読めるようになりました。)

・生物の成長過程を知る(4、5歳は赤ちゃんがいて、子供がいて、大人になって、おじいちゃんおばあちゃんになっていくことを覚える時期です。息子は、幼菌・成菌・老菌で覚えていきました。キノコは1週間単位で変化していきますので、前の週に見た幼菌が老菌になっていくなどの変化で覚えていきました)

・億や万の単位を知る(幼児は単位を覚え、数の大きさを知る時期です。キノコ解説の動画を見ていると、胞子の数などで単位が出てきてそこで覚えていきました)

・季節を覚える(幼児は季節があることを知ります。息子は、「アミガサタケがあるから春!」「梅雨は雨が多くてキノコも多い」「秋もキノコが多い」「冬はカワラタケしか見れない」などと覚えていきました)

・因果関係が少しわかるようになる(因果関係を考えられるようになるのも幼児の時期です。「雨が降ったらキノコが生える」はキノコにまつわる因果の典型例。「日陰の方がキノコが生える」や「前にここにテングタケが生えたから今日も生えている」など小さな因果関係を構築できるようになっていきました)

#### ◆心情面／

・日ごろ、雨を楽しめるようになる(それまでは雨が降ると遊べないという理由で、残念がっていました。今では雨が降ると、「キノコが生えるね」と楽しむように)

・一期一会、大切に扱う(キノコは1週間経つとすっかりなくなったりします。なので、きれいなキノコに会えたときや珍しいキノコに出会えたとき、それを大切にする気持ちが育まれたと思います)

・社交性を身につける(キノコ好きな大人がいることがわかってから、キノコ観察をしていそうな大人を見つけると、自分から声をかけるようになりました。「キノコ好きなんですか?ぼくはキノコ大好きだよ」と。キノコのことがなければ、見も知らない大人に声をかけることはなかったと思います)

以上が、キノコ観察が幼児の成長にぴったりと思う点です。もちろん、キノコ観察以外でも同様の刺激を受けることはたくさんできると思います。ただ4~5歳は体力や俊敏性もまだ未熟、記憶力や論理性も発展途上で、そんな中でもキノコは十分に楽しめる、かつ多くの要素が網羅されている題材だと思います。

#### 【内容②】キノコ素人の親が幼児を連れて行くときの心配事と、その解決方法

キノコ観察を通じて内容①のように息子は刺激をうけてきたのですが、キノコ観察を始める前まで、キノコ素人の私にはキノコ観察はどうすればいいのか全くわかりませんでした。サッカーならボールをもって公園に行けばいい。昆虫なら虫取り網をもって、昆虫のいる場所へ。キノコ観察はどうすればいいのか、一般的な人はその方法を全く知りません。

#### 悩んだ点その1: どこが候補地となる?

私たちの住まいは、千葉県の市街地です。さてどこへ行ったらキノコが見れるのか? インターネットで「キノコ観察+地域名」で検索をすると、過去のキノコ観察会開催情報や調査結果の論文などの情報が出てき

ますので、その場所が候補地となることがわかってきました。

悩んだ点その2：幼児が可能な場所は？最適な場所は

候補地を見つけたら幼児が可能かどうかはどう判断できるのでしょうか？ こちらはお子さんがいる方なら、なんとなくお分りの通り、トイレと散策路の有無は必須で要確認。その上で休憩場所の有無、飽きた時の対応ができそうかを確認すると尚よいです。具体的には

- ・トイレ／トイレの有無かつトイレから最も遠い場所で「トイレ！」と言われてもなんとかなるか？がポイントになります。

- ・散策路／4～5歳の場合、安全のため、または途中でぐずった時のため、道がない場所は無理と思った方がよいです。なので散策路は必要かと思えます。

- ・休憩場所／あったほうが便利です。ベンチでもOK、加えて屋根のある休憩場所があれば更に良いです。

- ・飽きた時の対応／公園によってはキノコが見れて、かつ多少の遊具があるところもあります。キノコ探しに飽きたらそのまま遊べるという場所は、幼児を持つ親にとって最高の場所となります。

見つけた幼児がキノコ観察可能な場所

	トイレ & 散策路	休憩場所	遊具
茨城県自然博物館	○	◎ 屋内・ベンチ	○
筑波実験植物園	○	○ ベンチ	なし
流山市森の図書館	○	○ ベンチ	○

柏市こんぶくろ池	○	○ ベンチ	○ ブランコ
柏市手賀の丘公園	○	○ ベンチ	◎ アスレチック

悩んだ点その3：毒キノコの対応と採集ルールについて。

キノコに詳しくなかった私を一番悩ませたのは、毒キノコの対応でした。キノコ観察会では「軍手を持ってきてください」と記載のあるものもあればそうでないものもある。当時キノコ素人の私には触る事すら駄目なのか何が正しいのか、全くわかりませんでした。いろいろ調べた結果、息子とのルールは、「その液に触るだけでもかぶれるといわれるのは、カエントケ。よって、カエントケの可能性がある場合は絶対に触らない」「その他の毒キノコは触っても大丈夫。だが、触った後はしっかりと手を洗う」にしています。(なお、キノコの弾力やぬめりの確認のため、いまは軍手はしていません) 加えて、ツチグリやホコリタケの胞子を飛ばす時は、胞子が目に入らないように注意する、としています。

加えて、採集の問題もキノコ素人の私には最初はわかりませんでした。虫のように飛び回るわけではないので所有権の問題・誤って毒キノコを採集し食べてしまいかねない問題・加えて他の観察者のためにできるだけ自然のままを残しておきたいという3点の気になりどころがあり、結果すべてを解決するため、私は息子との間で「採集をしない・できるだけそのまま観察」(傘裏を見るときは手鏡利用)と決めました。そうすると、キノコ観察は、気軽に非常に多くの場所で楽しめるものとなりました。(もちろん、費用を払い採集可能な場所の時は別です)

※もし上記ルールだけでは幼児のキノコ観

察として適切ではないという場合、ご意見をお教え頂ければ幸いです。

### 【内容③】なぜ幼児のキノコ観察を広めた いか？

内容①で幼児の成長にぴったりであること、内容②でキノコ観察もある一定できることをお伝えしました。ここではなぜ幼児のキノコ観察を広めたいかを説明します。

国立青少年教育振興機構の調査によれば、日本国内において子供の自然体験の頻度は、年々徐々に低下をしており、一般的な昆虫採集でさえ40%の小学生が1年間で経験がない状態です。また、年収が低い家庭ではさらに自然体験が少ないことがわかっています。

また、文部科学省の調査では、自然体験・社会体験・文化体験が子どもの自己肯定感を高めることがわかっています。特に、小学校低学年までの自然体験や動植物との関わりが、その後の人生に影響を及ぼすことが分かっています。

上記調査結果と息子に起きた変化を見たときに、今はあまり一般的ではない幼児のキノコ観察が解決の糸口になるような気がしてなりません。

詳しくいうと、キノコ観察は自然体験であるとともに、バックグラウンドには生物学があり文化体験だと思います。そして、体力差・俊敏差も気にせず参加可能で、年齢や障害をこえたインクルーシブな交流が可能な社会体験でもあると思います。

そのため幼児からキノコ観察を楽しむことが一般的になってほしいと思います。

### 【内容④】幼児のキノコ観察を広げるための 今時点の私のアイデア

では、どうやったら幼児とその親にキノ

コ観察を広めていけるのか？を今時点での私なりのアイデアを述べていきます。

まず、キノコ観察イベントの告知を幼稚園・保育園などに伝えていきます。そのとき、キノコ観察会というと観察がメインと思えてしまいますので、“自然の中の宝さがし”のようなニュアンスで遊びをもたせた表現がいいのではと思います。(キノコ観察は必ず見れる訳ではないというのが事実だと思っています。見つからないかもしれない。だからこそ見つけた時が楽しい、そのような幼児遊びのイベントになればと思います)

そのうえで、広報上、「幼児も参加可能」「キノコが初めての方たちも歓迎」と記載し、毒キノコの対応方法・トイレ有無・散策路情報・遊具情報を記載し、観察以外の行為を拒絶するのではなく、自然の中で宝さがしをしながら遊べるという安心感を伝えてください。

そして、キノコを最低限楽しむための事前情報として、キノコの色・形・模様・大きさの多様性を添えるのがよいと思います。私もキノコ初心者の方をキノコ観察にお誘いする際はまず多様なキノコの写真をお見せします。すると、「これもキノコなの？」と親御さんに驚いてもらい、キノコへの興味関心をもっていただくことが多いです。

#### ○色のバリエーション例



### ○形状のバリエーション例



と考えており、以下のようなことを進めていきたいと思っておりますので、ぜひご一緒させてください。

やっていきたいことの内容：

- ・千葉県内の、幼児がキノコ観察可能な場所一覧の作成と、その紹介
- ・幼児向けキノコ観察ガイドライン作成（毒キノコ対応など）と、その公開
- ・幼児が楽しむための、ツール（シールや図鑑など）の紹介
- ・幼児向けキノコ探しイベントの企画と運営

### ○模様のバリエーション例



一緒に活動をして頂ける方がおられましたら、以下のホームページの問合せよりご連絡をください。

キノコ大好き5歳と父の観察記 URL

<https://senseofwonderfungi.jimdofree.com/>

キノコ大好き5歳と父の観察記 QR コード



### ○大きさのバリエーション例



### 最後に

ここまで読んでいただき、ありがとうございます。つい数年前まで、まさか私自身、菌類とこのような形で付き合っていきたいと思うとは、まったく予想しておりませんでした。今では息子を通じてキノコに出会えたことを大変嬉しく思っております。

今後、幼児のキノコ観察を広めていきたい